

2001 Winter

明治村 だより

冬号 Vol. 26

● 目次

魯迅と周作人の下宿 平川祐弘 …2

文明開化の風景 西澤康彦 …4

冬の明治村一催しものご案内 ……6

A La Meiji-mura ……7



文明開化の風景

西澤 泰彦



写真1 東山梨郡役所から見たII号地

博物館明治村の中で私が最も好きな風景は、国の重要文化財に指定されている東山梨郡役所の二階バルコニーから東松家住宅（写真2）などが面する眼前の通りを眺めた風景である（写真1）。この地区は明治村ではII号地と呼ばれ、通りの左側には、眼下に擬洋風建築の典型である清水医院（写真3）があり、その先には明治時代の典型的な都市型住宅である東松家住宅（国重要文化財）、地方都市の典型的な銀行である安田銀行会津支店、日本では数少ない石造建築である札幌電話交換局（国重要文化財）と並ぶ。通りの右手には階段教室を持つ第四高等学校物理化学教室、体操場を備

えた千早赤阪小学校講堂という学校建築が並んでいる。さらにその先に目を向ければ、京都市電のチンチン電車が走り、木々のなかに北里研究所本館の塔屋が見え隠れする。もちろん、この通りを逆方向から眺めた風景、すなわち、札幌電話交換局の前から東山梨郡役所を見た風景もまた、楽しい。

現在、明治村には国の重要文化財に指定されている物件が十二件（建物十棟、機械二点）あるが、しかし、明治村で最も有名な建物といえ、巨匠ライトが設計した帝国ホテルであることは間違いない。にもかかわらず、私は帝国ホテルの前に佇り、後者に設けられた体操場は体操（体育）を義務教育の中で重視していたことを示している。いずれにも全国各地に普及していった学校建築の姿を見ることが出来る。

II号地の中で建物の高さが突出している東松家住宅は、名古屋の都心にあった木造三階建て（内部は四層）の商家である。この東松家住宅があるが故に、II号地の町並みは一見すると高さが不揃いであるが、それが明治時代の町並みというものの。この高さは、江戸時代には士農工商という身分社会の中で財力があっても自由に建物を建てられなかった商人が、明治時代になって自由に建物を建てることのできるようになった証である。

このような建物から成るII号地の風景、すなわち、全体として洋風の町並みであり、建物の高さも千差万別である風景は、庶民が自由に建物を建てられるようになった明治時代の都市の風景を示していると思っている。もともと、このII号地の風景は、全国各地から移築した建物によって成り立っているから、実際にはあり得ない風景だ。しかし、これに似た風景、擬洋風建築や下見板張りの建物が軒を連ねた町並みは、実際に存在している。

それを示してくれるのが、明治時代前半に活躍した画家高橋由一（一八二八〜一八九四）の作品「山形市街図」（一八八一年頃）（写真4）である。当時の山形県庁前大通り（現在の山形市七日町の風景を描いたものだが、そこに描かれた建物は画面中央の山形県庁をはじめ、すべてが擬洋風建築であり、また、多くは下見板張りの建物である。これらの建物については、藤森照信博士の「日本の近代建築（上）」（岩波書店）に詳しく説明されているが、画面右手に並ぶ建物が県令三島通庸が設立した学校や警察本署、左手には製糸工場や印刷所が並ぶ。正面の山形県庁は小さく、建物の詳細を見るのは難しいが、この建物は、三島が後に栃木県令となった時に建てた栃木県庁舎と同じ形態の建物で、八角形平面の三階建て。

正面に擬洋風建築の典型例である東山梨郡役所を望むII号地の風景は、個々の建物の形態が異なっているようにも、「山形市街図」が表す文明開化の風景の再現であると私は思う。チンチン電車の音や蒸気機関車の汽笛を遠くに聞きながら、東山梨郡役所のバルコニーに佇むと、自由民権派から「鬼県令」と呼ばれながらも公共工事による都市改造、地域改造を強力に進めた三島通庸の気分が浸れることは間違いない。この風景は、文明開化そのものを示している。

そして、そこに、博物館としての明治村の存在意義があると私は考えている。



写真2 東松家住宅



写真3 清水医院

写真4 高橋由一「山形市街図（山形県庁前通り）」（山形県蔵）

にしざわ やすひこ

（建築史家、名古屋大学環境学研究所助教授）



WINTER 冬の明治村

12月1日(土)～2月11日(祝)
(うち休館日12/3・10・17・31・1/7・21・28・2/4)

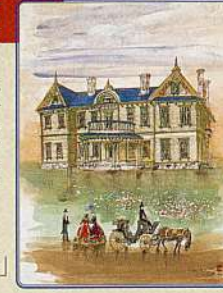
冬の明治村

ドラマチック明治へ

明日をつくった偉人に出会う
「ヒロブミの明治探険」

HOT ホットギャラリー開設

会場 東山梨郡役所2階
心安らくBGMが流れる東山梨郡役所2階のギャラリーで、近岡善次郎の水彩画「明治の洋風建築」を楽しみながら、身も心もホットに。



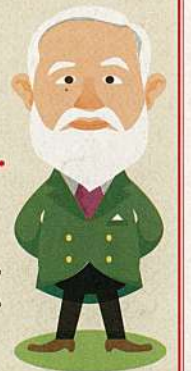
近岡善次郎画「豊平館」

明治村めぐり ガイドツアー

ガイド付きの電動車を利用した1時間の明治村見学コースを3種類用意いたしました。

11時・13時出発 1台1回5,000円
(1台6名様までご利用できます)

- ・重要文化財めぐりコース
 - ・日本建築めぐりコース
 - ・西洋建築めぐりコース
- (要予約 ☎0568-67-0314)



ヒロブミのなぞとき双六

受付 正門・北口 1部300円
クイズやスタンプをとり交ぜた見学シートです。楽しく効率よく見学でき、さらにみどころ満載。

明治のくらしよろず体験

三重県庁舎1階
わかりそうでわからないちょっと前のくらし。実物を見たり、触れたりできる、体験型展示です。

偉人に出会う

皇宮警察署別館
明治の偉人たちを紹介する総合展示室です。伊藤博文や夏目漱石などの明治の偉人たちとツーショットで写真撮影ができたり、ヒロブミQ&Aコーナーでお楽しみいただけます。明治村の建物の折り紙建築のワークショップ(材料費100円)も開催中。

建物ガイド

普段入れない建物の内部(東松家住宅・西園寺公望別邸「坐漁荘」・呉服座)をガイド付で公開。

東松家住宅	10:30	10:50	11:10
西園寺公望別邸「坐漁荘」	11:30	11:50	12:10
呉服座	13:00	13:20	13:40

開運ホール

千早赤阪小学校講堂
矢場・射的・輪投げ・サイコロゲーム・様々なおみくじ・招福招き猫など、昔懐かしい遊びと開運グッズを提供。

暗夜回廊

歩兵第六聯隊兵舎 〈土・日・祝〉
明治の「暗やみ手さぐり」体験 体感料 200円

食は明治にあり

- 浪漫亭 「村井弦斎が執筆した『食道楽』を堪能する」
食道楽ランチ 1,000円
- 明治村食堂 食堂車開業100年「食堂車メニューの再現」
ライスカレー 700円
カツカツランチ 1,000円
「明治の駅弁メニューの再現」
駅弁 900円

★クリスマスイベント★

クリスマス装飾

(12/1～12/25)
聖ヨハネ教会堂・聖ザビエル天主堂ほか教会や洋館が素敵なクリスマスの飾りに包まれ、ロマンチックな雰囲気!



クリスマスミサ (12/23)

聖ザビエル天主堂 11:00
ゴシック建築の聖ザビエル天主堂で行なわれる荘厳なクリスマスミサ。

●正月イベント●

特別展「はつはるの錦絵」(1/1～2/11)

会場 三重県庁舎1階
「春」をテーマとした錦絵がズラリ。「春」を寿ぐ気持ちは今も昔も...



お多福券プレゼント (1/1～6)

ご来村の皆様へ、開運ホールの「あそび」割引券やウマ年にちなんで馬車割引券などをセットした「お多福券」を進呈。

新春鏡割り (1/1) 呉服座前 10:30

祝餅つき (1/2・3) 呉服座前 12:00.13:00

正月飾り (1/1～1/14)

正門・北門・東松家住宅・京都中井酒造
伝統的な正月飾りをお楽しみください。



SL機関士体験 (2/3・10の午後)〈予約制〉

村内を走るSLの機関室に乗って、機関士体験をお楽しみいただけます。

- 参加条件 身長130cm以上の小中学生
参加費 小学生:400円・中学生:650円
応募方法 往復ハガキに住所・参加者と保護者の氏名・学年・参加希望日・電話番号を明記の上、開催日2週間前までにお申し込み下さい。



※催事は都合により変更する場合がありますので、詳細については事前にお問合せ下さい。